

高度先進インプラント・歯周病学実習

Training of Highly Advanced Implantology and Periodontology

キーワード

- ① 高度先進口腔医学
- ② インプラント治療学
- ③ 歯周病治療学
- ④ インプラントー歯周病疾患との相関
- ⑤ 無歯顎部ならびに歯周組織診断

授業概要

インプラント・歯周病治療における診断と基本術式について、残存歯の歯周病診断と治療計画について立案する。歯牙欠損部では、インプラント治療の診断と治療計画を立案する。以上の結果から、口腔における治療計画を総合的に判断する能力を養成する。さらに、インプラント周囲組織や歯周組織の機能、診断のカテゴリ分類を熟知、再生歯周外科手術や歯周形成手術（ティッシュマネージメント）、抜歯創の治癒、ソケットブリザベーション等の高度技術の応用を実習し、インプラント・歯周病学の臨床研究手法を身につけることを目的として開講する。

授業科目の学修目標

歯周病の疾患の実態を理解した上で、それに従った無歯顎部診断を確実に実践し、口腔内全体を見据えた診断や治療法を確立するための基礎知識の構築を実施する。また、大学院生としてエビデンスの背景に基づいた知識や研究方法を構築する。

授業計画

- ① インプラント周囲組織・歯周組織実習 12コマ
無歯顎ならびに有歯顎の組織についての確かな判断を実施し、診断学への導入を教授する。
- ② インプラント治療学実習 6コマ、歯周病治療学実習 6コマ
インプラント治療や歯周病治療について各論を深く理解し、診断や治療計画の基礎を構築する。
- ③ 無歯顎部診断学 6コマ、歯周組織診断学実習 6コマ
治療計画を立案するための根拠ならびにエビデンスを教授する。
- ④ インプラント・歯周病関連疾患診断・治療計画実習 6コマ、インプラント周囲炎の診断ならびに治療学実習 6コマ
インプラント・歯周病関連疾患の成り立ちを把握し、治療計画や治療法について実践的に享受する。
- ⑤ 総合診断学実習 6コマ、エビデンスベースの検討と理解ならびに研究テーマ検討 6コマ
これまでの実習に基づいて、それぞれの疾患の診断・治療計画・治療法・再生療法を理解し、関連したテーマの絞り込みと研究テーマを創造する。

実習担当教員 児玉利朗 小牧基浩 鎌田要平 清水智子 林昌二

教科書および参考書

ITI Treatment Guide¹8, Color Atlas of Periodontology (ラタイチャーク)

履修に必要な予備知識や技能、および一般的な注意

高度先進インプラント・歯周病学実習では、授業科目に応じた知識修得、診断・治療計画、手術計画が立案できる。

大学院生が達成すべき行動目標

- ① インプラント周囲組織・歯周組織の診断ができる。
- ② インプラント治療学、歯周病治療学の説明と組み立てができる。
- ③ 無歯顎部診断、歯周組織診断をもとに治療計画が立案できる。
- ④ インプラント・歯周病関連疾患ならびにインプラント周囲炎治療の説明と治療手順が解説できる。
- ⑤ 総合診断の立案、研究テーマの検索ができる。

評価

試験	小テスト	レポート	成果発表	ポートフォリオ	口頭試問	実技	その他
20%	0%	20%	0%	0%	0%	60%	0%

評価の要点

試験は講義内容の理解度ならびに知識を確認する20%、レポートは関連する文献検索のレベルを評価する20%、実技は基礎知識の確認と各種手術術式の確認60%

理想的な達成レベルの目安

高度先進インプラント・歯周病学実習では最低70%以上を達成目標とする。